

来て!見て!知って!文化財

坂田医院旧診療所

所在地:熊谷市妻沼1420

昭和6年に産科医院として建てられた「坂田医院旧診療所」は、鉄筋コンクリート造、平屋建て、外壁正面をスクラッチタイル貼りとする昭和初期の地方近代建築の貴重な遺構として平成16年に国登録有形文化財となりました。

外壁のスクラッチタイルとは、タイルの表面を櫛引きして平行の溝を作り焼成した様式のことであり、その模様からすだれ簾レンガとも呼ばれています。室内には、受付・調剤室、応接室、待合室、診察室、分娩室、手術室、レントゲン室などが残されており、主要な部屋を正面側(東側)に並べ、背面(西側)には外光が差し込む廊下を配置しています。

内部は、壁・天井ともに、珪物質を原料とした塗りの方じゅぼら法であるプラスター仕上げが用いられ、柱や天井の隅などに巡らした蛇腹と呼ばれる帯状の構造は、各部屋ともに意匠

を凝らしています。床には檜材が、床と壁とのつなぎ目には松材が多用されています。天井には端正な形状を重視するアールデコ様式の照明器具が当時のまま残されています。



外壁の上部には、直線を基調とした歯形の凹凸装飾が見られ、かつて玄関ポーチの両脇には幾何学的なキュビスム風の石膏レリーフがはめ込まれていました。

現在、この建物は映画やドラマなどの撮影場所として使用されるなど、全国的な知名度を上げています。

◆江南文化財センター TEL 048-536-5062 (山下祐樹)